

SDGs 対応を強化

丸三産業

丸三産業（愛媛県大洲市）は、昨年4月に発表

を強化する一方、晒し綿では顧客が求める油脂分の違いに対応し各品種を供給できる体制を構築。

した「丸三産業SDGs宣言」の一環として、コットンのサステイナビリティ訴求を強化する。その一環として、農場までトレースできるコットンの提案も準備する。

SLでは他素材混綿や他の不織布との複合化、薬剤の付与などにより機能性不織布の開発も行う。20年春に立ち上げた香南工場（高知県香南市）では「今後、順次後加工機を充実させて機能性不織布を強化する」（渡邊秀幸取締役営業本部長）考えた。

同社は晒し綿で月産1600ト、綿100％スパンレース不織布（SL）

はユニチカとの合弁会社を含め同800トの生産能力を持つ。海中の生分解性はじめ各種環境認証を取得するなどサステイナビリティ対応にも

力を入れてきたが、このほど企業がグローバルサプライチェーンの労働条件を管理・改善するためのオンラインプラットフォームを提供する会員制組織、Sedexにも入会した。

こうしたSDGs対応